

1



タイの医学教育

My Majesty through the grace
Your Majesty King King, will prosper
our beloved King Bhumibol Adulyadej
in the thousand year jubilee, the
King Memorial card just opened
our deepest confidence.
My His Majesty the King rest in peace.
Your Majesty's obedient servant,
His Majesty's High Commissioner for Thailand

2

タイの(医)学教育

- 基礎教育
 - ✓6年：Primary school (小学校)
 - ✓6年：Secondary school (中等学校)
- 入学試験
 - ✓Achievement test (学力試験)
 - ✓Professional test
 - ✓Physical and mental test
 - ✓Interview (MMI)
- 医学校
 - ✓1年：Premedical
 - ✓2年：Preclinical
 - ✓2年：Clinical
 - ✓1年：Externship

3

タイの医学教育

- 卒前教育 (医学校)
 - ✓3つの資格試験 (国家試験)
 - ✓基礎医学 (basic sciences)
 - ✓臨床医学 (clinical sciences)
 - ✓OSCE、MEQ & Long case
- 卒後研修
 - ✓3年間：地域医療研修
 - ✓そのうちの1年：ローテーション研修
- その後
 - ✓3~4年：Residency training
 - ✓1~2年：Fellowship


4

タイの卒後臨床研修

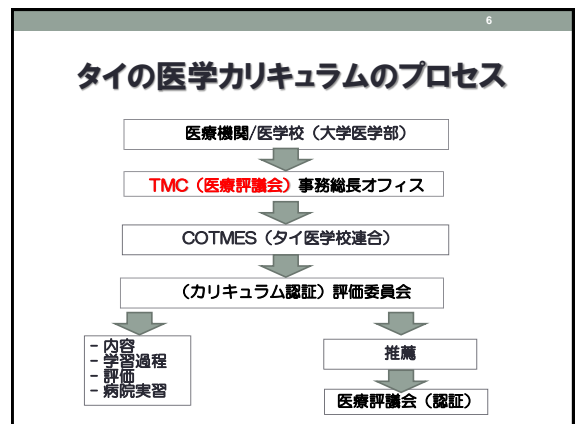
- 卒後研修
 - ✓保健省と教育省管轄の違い
 - ✓保健省 (CPIRD&ODOD)
 - ✓教育省 (大学・国立/私立)
 - ✓ODOD：必ず出身県に帰り、保健省の指定病院で研修
 - ✓CPIRD：東部であれば東部の病院から選択することが可能
定員オーバーの時はくじ引きで決める
 - ✓教育省：教育省管轄以外の軍関係・赤十字関係であればOK
保健省の管轄病院で研修する
 - ✓マッチング：マッチングは保健省出身者が優先されるが、
教育省出身者は定員オーバーな時は協議して、
それでもダメな場合はくじ引きで決定

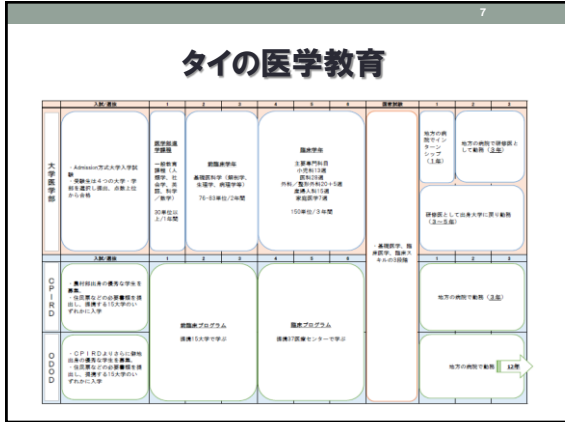
5

医療評議会



- 医療協議会 (Thai Medical Council)
 - ✓タイの医学教育の元締め
 - ✓保健省管轄
 - ✓医学部のカリキュラム策定を含む医学教育
 - ✓医師免許の発行
- タイの医師免許取得
 - ✓大学受験を経て医学部入学 (教育省)
 - ✓CPIRD (保健省)
 - ✓ODOD (保健省)
 - ✓3パターンとも最初の3年間は医学部で教育
 - ✓学位は教育を受けた医学部が発行





8

卒前教育 -ブラパ大学-

9

ブラパ大学

▶ 大学/附属病院概要
 ✓ 教員数：57名
 ✓ 学生数：48名 (CPIRDは12名)
 ✓ 附属病院：160床 (数年後に400床の病院が完成する予定)
 ✓ 外来患者：1,200人/日
 ✓ 東部8県を統合している。各県には病院もあり、不足している部分を補足する緊急病院でもある

▶ カリキュラム/理念
 ✓ 医療評議会が定めたカリキュラム準じた教育を行っている
 ✓ 大学が観光地にあるので、観光客のために医療を行う予定
 ✓ コミュニケーション能力、高い道德観や倫理観を持つ医療人を育成する

10

ブラパ大学

▶ カリキュラム

- ✓ 卒業までに257単位を取得する

一般教育クラス	30単位
言語・・・英語	12単位
タイ語	3単位
情報通信技術	3単位
人文科学	4単位
社会科学	3単位
健康科学	2単位
科学と数学	3単位
専門科目クラス	229単位
基礎医学科目	80単位
臨床科目	145単位
選択必修	4単位
自由選択	6単位

11

ブラパ大学

▶ 教員/指導医

- ✓ 教育水準を保つための工夫 (FD) を行っている

▶ 進級試験

- ✓ Pre-clinical：中間と学年末の2回
- ✓ Clinical：学年ごとの進級試験はなく、教科ごとに評価を行っている
- ✓ 不合格科目は再試験を受験する
- ✓ GPAで2.0以上が進級する

12

クイーンサバーンバハマ記念病院 -ブラパ大学の提携病院-

▶ 施設概要

- ✓ 病床数：500床
- ✓ 外来患者：3,000人/日
- ✓ 医師数/レジデント：130/90人
- ✓ 看護師数：400人
- ✓ 学生数：32名 (昨年度まではCPIRDを受け入れていた)
- ✓ 産婦人科：500件/月

▶ カリキュラム

- ✓ 4年次：5~6人のグループで患者を診る
- ✓ 5年次：病院外のコミュニティの病院でも研修
- ✓ 6年次：学生1人で指導医の指導のもとで患者を診る
- ✓ 実習時間：診療科により異なる
 - ・ 外来実習は8時間
 - ・ 直当の場合は16~23時 (10日/月)
 - ・ 診療科によっては休みがないが、学生間で調整して休んでいる
- ✓ 毎日ログブックにその日の実習内容を記載する

13

クイーンサバーンバハマ記念病院 -ブラバ大学の提携病院-

- カリキュラム (続)
 - ✓ 学生に対する講義/セミナーを行っている
 - ✓ スキルスラボ/図書館は完備している
 - ✓ 各診療科で修得しなければならない疾患/手技はカリキュラムに
 - ✓ 明文化されている
 - ✓ 理論だけを学修する手技もある
- 医師/教員/指導医
 - ✓ FIDを開催している
 - ✓ 大学の学部や教育省のプログラムで研修を受講
 - ✓ 経営/管理の講習もある
 - ✓ 学生1人に4人の教員が必要と考えている

14

学生生活

- 学生生活
 - ✓ 寮生活が一般的である
 - ✓ 大学/提携病院内に寮が完備されている
 - ✓ 病院実習では病院内での生活であり、当直が10日/月の診療科もあり、23時までは病院で実習している
 - ✓ 4・5年生は22時までには帰寮できるが、6年生では病院で過ごすことも多い
 - ✓ 寮は2人部屋で2リビングと寝室



15

国家試験(資格試験)

16

タイの医学国家試験

- Part 1
 - ✓ 受験資格：医学部3年を終了している者
 - ✓ 試験内容：基礎医学300題
- Part 2
 - ✓ 受験資格：5年次修了している者
 - ✓ 受験内容：臨床医学300題
- Part 1 & 2
 - ✓ 試験時間：午前3時間、午後3時間、計6時間
 - ✓ 試験様式：紙(冊子)
 - ✓ 試験日：学期終わりの4月と11月
 - ✓ 試験会場：全国の指定会場で、希望制であるが定員があるため、振り分けられる。
 - ✓ Part 1が落ちてもPart 2を受験できる
 - ✓ 受験回数：最初の受験から7年間の猶予

17

国家試験例題 -Part 1-

60歳の女性が咳やくしゃみをした時、または笑った時に、尿失禁の症状を示した。

鍛えるべき筋肉はどれか。

- 排尿筋
- 内閉鎖筋
- 梨状筋
- 腹直筋
- 骨盤底筋

60歳の男性が手を伸ばした際に、両手が震える症状を示した。

脳の障害されているのはどれか。

- 大脳基底核
- 小脳半球
- 補足運動野
- 前頭眼運動野
- 視床の運動核

18

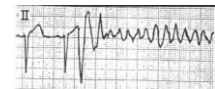
国家試験例題 -Part 2-

口蓋裂を持つ4か月の乳幼児が、一般的なチェックと免疫の為に乳幼児健診クリニックに来院した。注意すべきことはどれか。

- A. 歯牙萌出
- B. 慢性扁桃炎
- C. 上顎洞炎
- D. 漿液性中耳炎
- E. 発語の発達

50歳男性が、意識なしの心停止状態で緊急医療室に来院した。心電図を示す。最も適切な初期対応はどれか。

- A. 静脈内アドレナリン
- B. 100ジュールで除細動
- C. 250ジュールで除細動
- D. 50ジュールで電氣的除細動
- E. 100ジュールで電氣的除細動



19

タイの医学国家試験

Part 3

- ✓ 受験日：1月～3月に3回/年
- ✓ 受験場所：バンコクと地方
- ✓ 受験人数：800～900人/回（学生数は約3,000人）
- ✓ 合格率：約95%

試験内容

- ✓ OSCE
- ✓ 医療面接：4ステーション
- ✓ 身体診察：4ステーション
- ✓ 処置スキル：4ステーション
- ✓ コミュニケーションスキル：4ステーション
- ✓ 解釈（X線、心電図、血液塗抹、グラム染色）：4ステーション
- ✓ 20問中12以上で合格（MPL）

20

医療面接

20歳の女性。1か月持続する頭痛を主訴に来院した。
診断のための医療面接をしないさい。



21

身体診察

神経診察と腹部診察



22

コミュニケーションスキル

25歳の男性。HIV検査依頼で来院した。
コンサルテーションをしないさい。



23

救急処置

心停止の患者の蘇生のために病棟に呼ばれました。
すでに挿管されています。心蘇生を行いなさい。



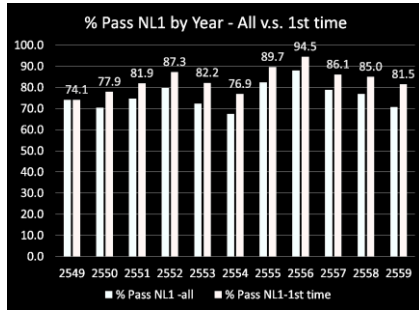
24

切除術と縫合



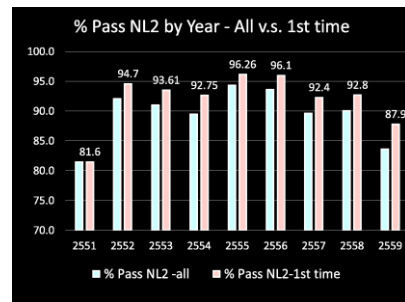
25

Part 1の合格率



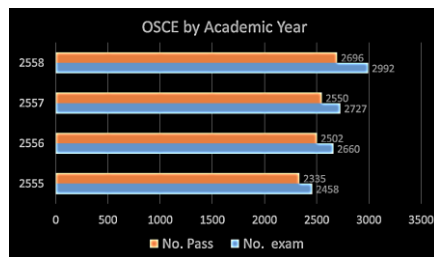
26

Part 2の合格率



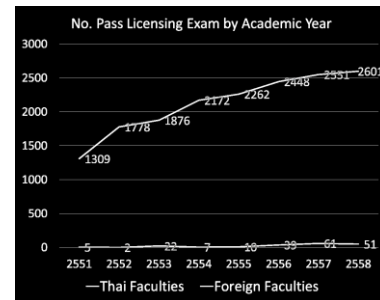
27

OSCEの合格率



28

国家試験の合格者数



29

臨床実習

30

タイの医学教育-臨床実習-

- ▶ 卒前教育で臨床実習3年間
 - ✓ 4~5年：グループで実習
 - ✓ 6年：1人で患者を受け持つ（外来でも病棟でも）
 - ✓ 休み：ほとんどなし（病院は土日もあるので）
 - ✓ 内科、外科のような診療科では休みはないが、マイナー科では学生同士で調整して休んでいる？
 - ✓ 臨床実習の合間に講義・カンファレンスがある
 - ✓ ログブックを常に携帯して実習内容を記載している

31

臨床実習のログブック

+

LOG BOOK : 静岡県立総合医療センター
 診療科目別実習 記録簿
 発行年次.....2559.....

氏名:
 所属:
 指導医:

32

臨床実習のログブック

No.	内容	日付	時間	場所	指導医	実習内容
1	1 Venipuncture					
2	2 Intravenous fluid infusion					

No.	内容	日付	時間	場所	指導医	実習内容
3	3 Nasogastric intubation					
4	4 Urethral catheterization					
5	5 Wound dressing					
6	6 Suturing					
7	7 Desuturing					
8	8 Off drain/Shortend drain					

33

臨床実習のログブック

内容	P	O	A	指導医
3.1 Transfusion of blood and blood components				
3.2 Other transfusion of blood				
3.3 Transfusion of packed cells				
3.4 Transfusion of platelets				
3.5 Transfusion of coagulation factors				
3.6 Transfusion of other serum				
4. Cervical biopsy				
4.1 Other cervical biopsy				

Blood and blood component transfusion
 Other transfusion of whole blood
 Transfusion of packed cells
 Transfusion of platelets
 Transfusion of coagulation factors
 Transfusion of other serum

Cervical biopsy
 Other cervical biopsy, punch biopsy of cervix NOS

34

実習科目	CPIRD					ODOD				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
大学実習科目	1. 解剖学 (大津大学) 2. 生理学 (大津大学) 3. 生化学 (大津大学) 4. 薬理学 (大津大学) 5. 病理学 (大津大学)					1. 解剖学 (大津大学) 2. 生理学 (大津大学) 3. 生化学 (大津大学) 4. 薬理学 (大津大学) 5. 病理学 (大津大学)				
地域医療実習科目	1. 地域医療実習 (大津大学) 2. 地域医療実習 (大津大学) 3. 地域医療実習 (大津大学) 4. 地域医療実習 (大津大学) 5. 地域医療実習 (大津大学)					1. 地域医療実習 (大津大学) 2. 地域医療実習 (大津大学) 3. 地域医療実習 (大津大学) 4. 地域医療実習 (大津大学) 5. 地域医療実習 (大津大学)				

35

地域医療の担う医師の育成 -CPIRDとODOD-

36

CPIRDとODOD

- CPIRD (Collaborative Project to Increase Production of Rural Doctors)
 - ✓ 地域で活躍する医師育成のためのプロジェクト
 - ✓ 日本の自治医大制度を真似て作られた
 - ✓ 20周年 (1994年発足)
- ODOD (One District One Doctor)
 - ✓ よりへき地での医師育成のための制度
 - ✓ 報奨金やチャータによる医師育成制度
 - ✓ 卒後12年間の地域での医療活動を行う
 - ✓ 2005年に創設

37

CPIRD & ODOD

- 申請方法
 - ✓ 保健省が大学ごとの定員を決め、大学に通知する
 - ✓ 大学が各県の定員を含めて募集する
 - ✓ 学生がインターネットで応募する
- 選抜方法
 - ✓ ODODの枠から決めていく
 - ✓ とあるC大学で入学枠がCPIRD12人とODOD8人の場合
 - ✓ ODODの8人枠から埋めていく
 - ✓ ODODの合格者が8人未満の場合には、CPIRDの枠を増やす
 - ✓ ODODとCPIRDは同日に試験を行っているため併願はできない
 - ✓ 入学試験の内容は教育省（大学）が決定している

38

CPIRD & ODOD

- 提携先大学選抜者との関係
 - ✓ 大学とCPIRD学生の学力はほぼ同等で、近年ではかなり優秀な学生もCPIRDで受験している
 - ✓ ODODの学生は大学・CPIRDの学生に比べて学力は低い
 - ✓ ODOD学生は補講やチュータにより学力差を是正している
 - ✓ ODOD学生は落第する学生も少なくない
- 大学修了試験
 - ✓ 大学の学生と同じ内容の試験を受験する
- 提携先医療センターへの配属方法
 - ✓ 大学ごとに提携先は決定しているので、成績・評価に関係なく配属される
- 医師免許合格率
 - ✓ 大学とCPIRD経由の学生で医師免許取得率に差はない

39

CPIRD & ODOD

- 医師免許取得後
 - ✓ CPIRD：卒後3年間保健省が指定した地方の病院で研修義務
 - ✓ ODOD：卒後自分の出身地の保健省が指定した病院で12年間勤務・研修する義務
 - ✓ 義務を放棄した場合にはCPIRDは30万パーツ、ODODは120万パーツを罰金として支払う
 - ✓ 10%弱が罰金を支払い義務を放棄しており、罰金を高額にする動きはあるが実現していない
 - ✓ 義務終了後、そのまま配属先の病院の残るのは70%ほど

40

